

指名打者ルールを使用した場合の放送要綱 改訂版

《スタメン発表》 ※打順表に「DH」と書いているので「指名打者(しめいだしや)」と読む

「大変長らくお待たせいたしました。〈大会名〉第○日目、本日の第○試合、(県名)(一塁チーム名) 対 (県名)(三塁チーム名)の試合開始に先立ちまして、両チームのスターティングメンバー、並びに審判員をお知らせ致します。

先攻(1or3)側 (県名)(チーム名) ☒

1番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

2番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

3番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

4番【指名打者】【姓】【指名打者】【姓】背番号【 】☒

5番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

6番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

7番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

8番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

9番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

先発ピッチャーは【姓】ピッチャー【姓】背番号【 】

後攻(1or3)側 (県名)(チーム名)

1番【指名打者】【姓】【指名打者】【姓】背番号【 】☒

2番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

3番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

4番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

5番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

6番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

7番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

8番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

9番【ポジション】【姓】【ポジション】【姓】背番号【 】☒

先発ピッチャーは【姓】ピッチャー【姓】背番号【 】

なおこの試合の審判員は球審【姓】球審【姓】塁審は、1塁【姓】

1塁【姓】2塁【姓】2塁【姓】3塁【姓】3塁【姓】以上でございます。試合開始まで今しばらくお待ちくださいませ。」

《選手交代》

※DHのところに代打・代走が入った場合、次イニングの守備において審判から通達が無かった場合はそのままDHになる為、アナウンスは不要。万が一「先程の代打が指名打者」という通達があったとしても、DHは守備位置ではないのでアナウンスしなくて良い。

・代打・代走（DHのところに代打・代走が入る場合は従来の原稿と同じ）

：代打 「○番【姓】に代わりまして〔姓〕 バッターは〔姓〕 背番号()」

：代走 「(○塁)ランナー【姓】に代わりまして〔姓〕 (○塁)ランナーは〔姓〕 背番号()」

・指名打者が消滅する選手交代

※DHが消滅したこと自体はアナウンスをしない

：DHが投手につく場合

「(県名) (チーム名) 守備の変更をお知らせ致します。指名打者の(姓)がピッチャーに入ります。○番(指名打者として出ている打順)ピッチャー〔姓〕 背番号〔)」

：DHのところに出た代打が守備につく場合。

1番	センター	A
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	指名打者	D
5番	ショート	E
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I
	ピッチャー	J

指名打者Dの所に代打Kが入り、KはピッチャーへピッチャーのJがセンターへ

※代打 K



※この際に、センターのAが退いているが、押し出し方式にて選手交代、守備変更を処理していく為、退くコールは不要。従来の選手交代と同じように、先に入れ替わった選手の部分から順に穴の空いた守備を、守備の番号の若い順に押し出し方式にて追いかけて処理を行う。
例えば・・・(代打が1→1が8というように)

1番	センター	J
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	ピッチャー	K
5番	ショート	E
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I

「(県名) (チーム名) 先ほど代打致しましたK、そのまま入りピッチャー。

ピッチャーの Jがセンターに入ります。1番 センター J 、4番 ピッチャー K 背番号()」

: DHの代打者、又は代走者がピッチャーに入る場合

「(県名) (チーム名) 先ほど代打致しました(姓) そのまま入りピッチャー。○番
ピッチャー(姓) 背番号()」

: 通常時のピッチャーの交代(従来であれば、打順の紹介があったがDH制になるとピッチャーに打順が無い為、以下のようにアナウンスする)

「(県名) (チーム名) ピッチャーの交代をお知らせいたします。ピッチャー【姓】に
変わりました(姓)。ピッチャー(姓)。背番号()」

: DHが守備につく場合

(例: 指名打者がピッチャーになる場合) ※打順はそのまま

「(県名) (チーム名) 選手の守備の変更をお知らせいたします。ピッチャー【姓】に
変わりました、指名打者の(姓) がピッチャーに入ります ○番 ピッチャー
(姓)。背番号()」

↓ 下記の打順表を使うと・・・

1番	センター	A
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	指名打者	D
5番	ショート	E
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I
	ピッチャー	J

「(県名) (チーム名) 守備の変更をお知らせ
いたします。ピッチャーJに変わりました、
指名打者のDがピッチャーに入ります。
4番 ピッチャー D。」

1番	センター	A
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	ピッチャー	D
5番	ショート	E
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I

(例: 指名打者が他の守備につき、ピッチャーが打順に加わる場合)

1番	センター	A
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	指名打者	D
5番	ショート	E
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I
	ピッチャー	J

仮に指名打者がショートにつくとし、その場合、自動的にピッチャーは元々ショートがいた打順に入る。

「(県名) (チーム名) 守備の変更をお知らせ
いたします。ショートEに変わりました、
指名打者のDがショートに入ります。
4番 ショート D。5番 ピッチャーJ。以
上が変わります。」

1番	センター	A
2番	ファースト	B
3番	サード	C
4番	ショート	D
5番	ピッチャー	J
6番	レフト	F
7番	ライト	G
8番	セカンド	H
9番	キャッチャー	I

※複数の野手に変更した場合、ピッチャーはどちらかの打順を選択することができる。その場合も同様に守備変更を押し出し方式で処理した後、ピッチャーが選択した打順へ加えた打順順にアナウンスをする。